

【記入例③ 旅館業】

様式第1（第3条関係）（表面）

特定施設~~（有害物質貯蔵指定施設）~~設置~~（使用、変更）~~届出書

該当しない事項を二重線で見え消し

年 月 日

年号を記載
（平成、令和等）

宮城県知事 ○○ ○○ 殿

仙台市青葉区本町○丁目○番○号

○○ホテル株式会社

代表取締役 宮城 太郎

電話番号 022-○○○-○○○○

（氏名又は名称及び住所並びに法人に

あつては、その名称及び代表者の氏名）

届出者
設置届…第5条第1項
変更届…第7条
その他について詳細は保健所職員まで
お問い合わせください。

水質汚濁防止法第5条第1項、~~第2項又は第3項（第6条第1項又は第2項、第7条）~~

の規定により、特定施設~~（有害物質貯蔵指定施設）~~について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		○○ホテル	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		○○町△△1-2	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類の種類	66-3 旅館業 イ ちゅう房施設 ハ 入浴施設	※	令別表第1の番号及び名称を記載すること。
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

様式第1（第3条関係）（裏面）

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

別紙 1

変更届出の場合は、変更の前後がわかるように記載すること。
(変更前、変更後でそれぞれ欄を設け、並べて記載すること。)

特定施設の構造	
工場又は事業場における施設番号	<p>No. 1 ちゅう房</p> <p>No. 2 大浴場</p>
特定施設番号及び名称	<p>66-3 イ ちゅう房施設</p> <p>66-3 ハ 入浴施設</p>
型式	<p>施設の材質（木製、コンクリート製、鉄製等）を記載する。 適宜、図面・仕様書等を添付する。</p>
構造	<p>鉄筋コンクリート ステンレス製 (別添構造図参照)</p> <p>鉄筋コンクリート 木製 (別添構造図参照)</p>
主要寸法	<p>7.0×8.0(m) 床面積 56m² 1室 別添構造図参照</p> <p>男風呂 20×10×0.8(m) 容積160m³ 女風呂 20×10×0.8(m) 面積160m³ 各1室 別添構造図参照</p>
能力	<p>約200食/日</p> <p>約150人/日</p> <p>その施設の時間あたり、または1日あたりの原料の処理能力を表示しやすい重量・長さ等により記載する。</p>
配置	<p>別添配置図のとおり</p> <p>別添配置図のとおり</p> <p>当該施設及び関連する主用機械や主要装置の配置を記載する。別添図面でも可。</p>
設置年月日	<p>ⒶⒷ 年 月 日</p> <p>ⒶⒷ 年 月 日</p> <p>使用届の場合は設置年月日を記載すること。</p>
工事着手予定年月日	<p>ⒶⒷ 年 月 日</p> <p>ⒶⒷ 年 月 日</p>
工事完成予定年月日	<p>ⒶⒷ 年 月 日</p> <p>ⒶⒷ 年 月 日</p>
使用開始予定年月日	<p>ⒶⒷ 年 月 日</p> <p>ⒶⒷ 年 月 日</p>
その他参考となるべき事項	<p>※宿泊収容人数 ※入浴利用者数 など</p> <p>当該施設と同型の施設を同時に複数設置する場合にはその施設数を記載する。 その他、担当者名、主要製品等の基本情報を記載する。</p>

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 その他参考となるべき事項の欄には、当該施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の使用方法

別紙1との対応がわかるように記載する。

工場又は事業場における施設番号	No.1 ちゅう房		No.2 大浴場		
特定施設号番号及び名称	66-3 イ ちゅう房施設		66-3 ハ 入浴施設		
設置場所	別添配置図のとおり		同左		
操業の系統			特定施設を含む操業の系統について記載する。		
使用時間間隔	6時～9時, 15時～19時		11時～9時 (9時～11時は清掃)		
1日当たりの使用時間	7時間		22時間/回		
使用の季節的変動	5月, 10月, 11月には 使用時間増加		同左		
原材料(消耗資材を含む。)の種類, 使用方法及び1日当たりの使用量	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料 魚介類・肉類・野菜類等の食材 ・使用方法 調理して, 宿泊客に提供 ・一日当たりの使用量 約500kg/日 		<ul style="list-style-type: none"> ・温泉水及び水道水使用 ※上がり湯は水道水 ・水量 温泉水: 約400m³～450m³ 水道水: 約40～50m³/日 		
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	5.8以上 8.6以下	5.8以上 8.6以下	6.4以上 8.0以下	6.4以上 8.0以下
	BOD (mg/l)	50	75	5	5
	SS (mg/l)	25	50	25	30
	n-ヘキサン抽出物 (mg/l)	20	30	0	0
	大腸菌群数(個/cm ³)	0	0	0	0
	ひ素 (mg/l)	0	0	0.05	0.08
当該特定施設から排出される汚水の汚染状態について記載する。					
汚水等の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	
	10	15	440	500	
その他参考となるべき事項			昭和49年12月以前にゆう出されている温泉水を使用しているため, pH, 砒素については排水基準は適用されない。		

備考 汚水等の汚染状態の欄には, 当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙 3

工場又は事業場における施設番号		No.3 合併処理浄化槽				全施設のうち、当該施設を特定するために用いている番号、名称があれば記載する。			
処理施設の設置場所		別添配置図のとおり				処理装置を具体的に表す名称、型式等を記載する。			
設置年月日		ⓍⓍ 年 月 日							
工事着手予定年月日		ⓍⓍ 年 月 日				コンクリート、木製等型式ごとに記載する。別添として図面、仕様書等添付可。			
工事完成予定年月日		ⓍⓍ 年 月 日							
使用開始予定年月日		ⓍⓍ 年 月 日							
種類及び型式		合併浄化槽 ○○-△				縦、横、深さ等の主要寸法、容量等について型式ごとに記載する。別添として図面、仕様書等添付可。			
構造		FRP製（別添構造図参照）							
主要寸法		○×○×○m							
能力		400人槽（100m ³ /日）							
処理の方式		長時間ばっ気方式				処理の具体的な方法について記載する。			
処理の系統		別添処理系統図のとおり							
集水及び導水の方法		ポンプによる圧送				汚水等の集水及び処理施設までの導水方法について記載する。			
使用時間間隔		連続 通年							
1日当たりの使用時間		24時間				施設を断続的に使用している場合、時間間隔を記載する。			
使用の季節変動		なし							
消耗資材の1日当たりの用途別使用量		滅菌用固形塩素剤 100g/日				日によって変動がある場合は平均的使用時間を記載する。			
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	5.8以上 8.6以下	5.8以上 8.6以下	5.8以上 8.6以下	5.8以上 8.6以下				
	BOD (mg/ℓ)	200	20	250	20				
	SS (mg/ℓ)	250	10	300	10				
	n-ヘキサン抽出物 (mg/ℓ)	40	0	40	0				
	大腸菌群数 (個/cm ³)	>3000	0	>3000	0				
量 (m ³ /日)	70	70	90	90					
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法		余剰汚泥5.0m ³ /月 処理業者に委託処理				排水水の排出方法、排出口の位置、数及び排出先について記載する。排出先は、○○排水路→△△川→□□川とできるだけ詳細に記載する。			
排水水の排出方法		別添排水系統図のとおり							
その他参考となるべき事項									

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排水水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

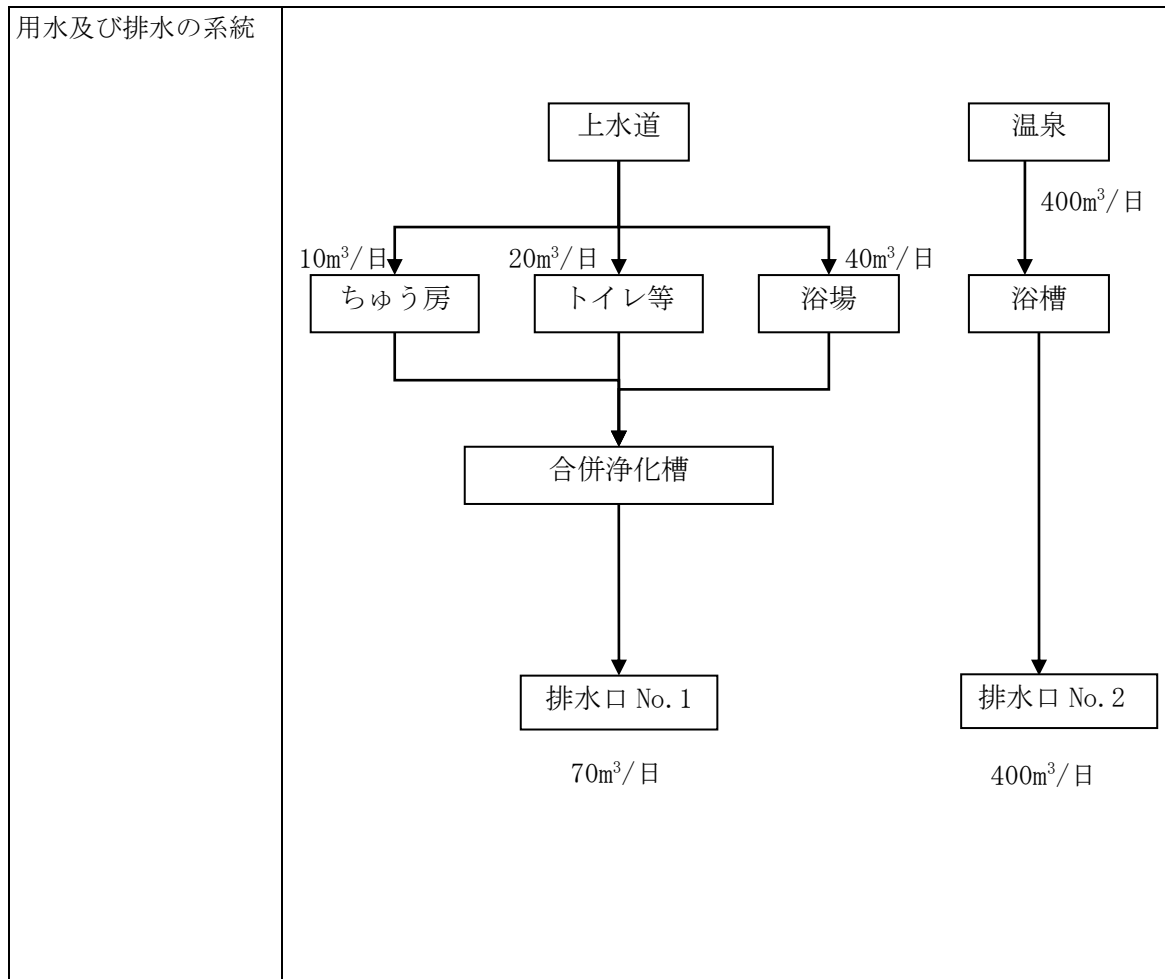
排水水の汚染状態及び量

排水施設が複数ある場合は、排水施設と特定施設・汚水処理施設との関係について記載すること。

工場又は事業場における施設番号		No. 1 排水口 (浄化槽排水)		No. 2 排水口 (温泉水排水)	
排水水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	5.8以上8.6以下	5.8以上8.6以下	6.4以上8.0以下	6.4以上8.0以下
	BOD (mg/l)	20	20	5	5
	SS (mg/l)	10	10	20	25
	n-ヘキサン抽出物 (mg/l)	0	0	0	0
	大腸菌群数	0	0	0	0
	ヒ素			0.05	0.08
排水水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		70	90	400	450
その他参考となるべき事項		<p>※ No. 1排水口 (浄化槽排水) は、ちゅう房排水・トイレ排水と浴場水排水を合併浄化槽で処理したもの。</p> <p>※ No. 2排水口 (温泉水排水) は、温泉の浴槽オーバーフロー水をそのまま排水するもの</p> <p>※ いずれも側溝を通して〇〇川へ排水</p>			

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

用水及び排水の系統



用途別 用水量	用途	使用水	用水量 (m ³ /日)
用水の使用用途(ボイラー用水, 原料用水, 洗浄水, 冷却水等)を記載する。	ちゅう房用	上水道	10
	トイレ等用	上水道	20
	浴場用(洗い場)	上水道	40
	浴場用(浴槽)	温泉水	400
		用水の種類(上水道, 工業用水, 地下水, 河川水, 海水等)を記載する。	